キャラクター名: 太楠善人(Ogusu･Yoshihito)

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム＝ストーカー ブラム＝ストーカー	ワークス	主婦・主夫	カヴァー	傭兵
オプショナル		年齢	28	性別	男
覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	43 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	永劫の別れ	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	4	0	0			4
精神	2	0	0			2
社会	0	1	0			1

HP	26
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
バックラー	白兵	2r	2	0		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
通信機器(携帯電話)	
軍服(制服)	
治療道具(アクセサリー)	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス(No.60):屍人	P	N		
オーネフィヲン	P 庇護	N 劣等感		
リーン	P 連帯感	N 劣等感		
依鈴	P 連帯感	N 劣等感		
マギー	P 信頼	N 劣等感		
ファットマン	P 信頼	N 劣等感		
フラニカ	P 庇護	N 恐怖		

最大財産P:	2	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
赤色の従者	7	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：従者をあなたと同じエンゲージに1体作り出す。従者はすべての能力値が3、最大HPが[LV*5+10]となる。あなたは1シーンに1体まで従者を作り出せ、従者はそのシーンの間、存在する。従者がシーンに存在する間、あなたが行うあらゆる判定のダイスを-3個する。								
声なき者ども	5	基7	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	あなたが1シーンに作り出せる従者の数を+LVする。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。							
愚者の軍団	4	5	メジャー	至近	自身	自動	100↑	
効果：《赤色の従者》と組み合わせて使用する。その《赤色の従者》で作り出す従者の数を+LV体する。ただし、作り出せる従者の最大数を超える数の従者を作り出すことは出来ない。								
ライフブラッド	5	基2	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	あなたが作り出す従者の最大HPは+[LV*5]される。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。							
盾なる人形	7	2	オート	至近	自身	自動	従者	
効果：ダメージロールの直前に使用する。このエフェクトを使用したキャラクターはカバーリングを行なう。このカバーリングによって、キャラクターは行動済みにならず、キャラクターが行動済みであっても使用できる。このエフェクトは1メインプロセスに1回、1シーンにLV回まで使用できる。								
守護の跳躍	1	4	オート	至近	自身	自動	従者,リミット	
効果：前提条件：《盾なる人形》。キャラクターが《盾なる人形》を使用する直前に宣言する。｜そのカバーリングはキャラクターから[SL*10]m離れたキャラクターに行なえる。このエフェクトは1シナリオにSL回まで使用できる。								
かしずく歯車	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	あなたはまるで写真のようなスケッチを描いたり、脳外科手術のような難作業でも簡単にやってのける。							
ブラッドリーディング	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果：	血や体液から、その主の情報を読み取るエフェクト。性別、年齢、その時抱いていた感情など看破することができる。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

[生前]
極度のお人よし。家族は全員戦争の犠牲となって死去しており、
できるだけ多くの人が同じ悲しみを受けないことを願い、傭兵となった。
能力こそ低かったが、人望に厚く、その真っ直ぐな正義感に感化される者は少なくなかった。
しかし、その思考は戦争をしている者からすれば邪魔以外の何ものでもない。
正義感の伝染を嫌った上層部はその芽を摘み取ることを選んだ。
戦場を渡り歩いている最中、羽休みに逗留していた小村でそれは行われた。
暗殺者へは彼を狙ったことを悟られないために彼だけでなく村民をも皆殺しにするよう告げられており、
そして一人の例外を除いてそれは実行された。辛うじて守り抜いた一人の少女。
その小さな背中を目に焼き付け、太楠善人はその生涯を閉じた。

[死後]
埋葬されてから、十五年の年月が過ぎたその時、それは起こった。
土の中、本来ならば骨しか残っていないはずの肉体はゆっくりと再生され、
完全にその身が治りきったことをきっかけに停止していた心臓が再び動き始めたのだ。
蘇った肉体にはブラム＝ストーカーのシンドロームが目覚めており、
本人の意志とは関係なく、能力者としての傭兵生活が始まった。
ただし力に目覚めてから短く、まだまだ使いこなせておらず、
自らの血から人型を作り出し、それを盾とする程度のことしか出来ないお粗末な物だ。
しかし、そのようなものだとしても、これで今までより多くの人を救えると喜んで受け入れている。